

▶ ご存知ですか？スクールガード

スクールガードとは…

子どもたちの安全確保のため、通学路に立って見守りや登下校指導をしたり、学校内や学校周辺の危険箇所を点検し、学校に情報提供するなどの活動をしているボランティア。三芳町では、町内5つの小学校ごとに結成している学校応援団に登録された地域住民がスクールガードを担っています。



唐沢小学校
スクールガードリーダー

清水 陽介さん
(唐沢小学校 PTA 会長)

仕事上、なかなか登下校時間に見守りできないので、夕方子どもとランニングをしながら見回りや危険箇所の点検をしています。車を運転すれば、交通事故を起こす可能性はゼロではありません。「自分は大丈夫」と思わず、慣れた道でも、慎重な運転を心掛けて欲しいと思います。



！ 交通指導員に関心がある人！ まずは三芳町自治安心課へ

交通指導員に関心のある人は、問い合わせください。

- 【対象】 ①町内在住の20～65歳
②健康で交通安全に関心と熱意がある
③視力、弁色力に異常がない

☎ 自治安心課 ☎ 049-258-0019 (内線 267)



①立哨指導中にちょっとした会話をしている奥山さん。妊婦さんにとっても交通指導員はありがたい存在です。②天候に関わらず、交通指導員は毎日立ち続けます。③三芳町初の男性指導員、鈴木孝彦さん。④信号待ちの際に、子どもとふれあう葛西和子さん。子どもは点滅棒に興味津々。⑤スクールガードやボランティアの存在が町の交通安全に欠かせません。



— 子どもも、大人も。 —

安全な通学路は、 みんなが安心。

毎日通学路に立つ交通指導員。交差点で立哨指導をしながら元気に挨拶を交わし、子どもから大人までたくさんの人に愛される一人の交通指導員を紹介します。

現

在、東入間地区交通指導員連絡協議会の会長を務める奥山麻友美さん。朝と午後の2回、子どもたちの安全のため通学路に立ち続けています。「交通指導員が午後も立っている所って、近隣では珍しいんですよ」と語る奥山さん。そんな奥山さんが交通指導員になろうと思ったきっかけは何だったのでしょうか。

「先輩指導員の立ち振る舞いや優しい言葉遣いに心を打たれて、私もなりたいたいと思うようになりました。町の広報紙に募集



東入間地区交通指導員連絡協議会会長
奥山 麻友美さん

三芳町出身。中学生の頃「三芳の良さを
持っている子」と担任に褒められたことが
自慢。交通指導員歴6年。

指導した子どもと一緒に

交通指導員になってからは、様々な出来事があったと言います。

「『立っただけで邪魔だ』と怒鳴られたり、ブレーキの踏みが甘い車にぶつかりそうになったり。でも、それ以上に嬉しいエピソードがあったんです。」と奥山さん。「下校する女の子が

の気持ちを伝えてくれたことでもあります。」

みんなが安心する道

卒業式が終わると、すぐに到来する入学シーズン。奥山さんは不安でいっぱいなのは、入学式の気配りも忘れません。「入学式には必ず出席して自己紹介します。一日でも早く顔と名前を覚えてもらえます。」

交通指導員が立つ安全な通学路は、みんなが安心する道。子どもも大人も安心して通れるように、今日も奥山さんは交差点に立っています。

皆さんの笑顔と挨拶に
"元気" をもらってます！



いつも、ありがとうございます！



もうすぐ卒業を迎える、小学6年生からのメッセージ！

安全な自転車・電動自転車の走行を！

小学校入学時からこれまでの約9年間、ずっと同じ交通指導員さんに通学路を見守ってもらいました。感謝の気持ちしかありません。通学路に限りませんが、自転車、電動自転車の走行に危険を感じることがあります。事故防止のため、スピードの抑制と適切なライトの活用にご協力ください。

三芳町交通安全広報大使
藤久保中学校3年 松村 成さん

